

小松島市新水道事業ビジョン

平成29年3月策定

(計画期間：平成29年度から10年間)

小松島市の水道事業は昭和32年に給水を開始し、現在の普及率は約98%、市民生活に欠かせないライフラインとなっています。

一方で、水道管の老朽化が進んでいることや大規模災害への備えとして、今後も安定した水道事業を維持していくためには、施設全体の計画的な更新、改良を続けていかなければなりません。

今回策定した小松島市新水道事業ビジョンは、本市水道事業の基本となる計画で、「未来につなぐ、宝の水」を基本理念とし、「持続・安全・強靱」をコンセプトに、基本方針や実現方策を示しています。

※計画書は市ホームページで公表しています。
まのひで、ご参照ください。

【お問い合わせ先】

水道課(田浦町字中西103)
☎32・6188 / FAX35・0647

E-mail:suidou@city.komatsushima.

i-tokushima.jp

小松島市水道事業の将来像

【基本理念】 未来につなぐ、宝の水

【理想像】 持続・安全・強靱

持続

いつまでも、みなさまに宝の水をお届けできる水道

将来的な給水人口の減少傾向は今後の料金収入に大きく影響し、また、老朽化が進む管路、施設の更新、整備の事業量は確実に増加していくことから、財政基盤、組織体制の見直しが必要です。

給水人口の減少が続く中、老朽化した施設の計画的更新、水道料金改定、包括業務委託の推進などに取り組みます。

主な方策

- 老朽化した水道施設の計画的な更新
- 水道料金改定の検討
- 職員の育成・確保
- 包括委託等の検討など

安全

いつでも安心して宝の水を飲める、安全で信頼される水道

配水池の貯留容量の割合が他市に比べて低く、また、主要幹線の配水管が1本しかないため、事故や災害に対し市内全域断水のリスクを抱えているなど、給水の安全性に問題があります。さらに、被災時の応急給水拠点が多く、その整備が急がれます。

給水の安全性向上を目指して、バックアップ機能を持った水道システム全体の再構築と水安全計画による適正な水質管理を行います。

主な方策

- 配水区域の分割
- 単線管路の複線化
- 水安全計画の策定など

強靱

災害に強く、しなやかな水道

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まってきている中、管路の耐震化率が10%台と低く、津波・浸水対策についても十分とは言えない状況です。

未曾有の事故、災害などに備えて、水道管の耐震化、飲料用耐震貯水槽の整備や非常時対応マニュアルの策定を進めます。

主な方策

- 管路の耐震化
- 水管橋の耐震化・津波浸水対策
- 飲料用耐震貯水槽の整備
- BCPの策定 など

方策の実施にあたっては、優先順位をつけた管路の更新は長期に継続して、単線管路の複線化や飲料用耐震貯水槽の整備は5年以内の短期で、南部配水池の整備は10年以内の中期で行うなど、実施時期を設定して計画的に進めていきます。

また、PDCAサイクルで実施効果を分析しながら、計画の定期的な見直しを行うこととしています。